



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月6日

上場会社名 佐藤商事株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8065 URL <http://www.satoshoji.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 音羽正利  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 城井靖弘 TEL 03-5218-5312  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月7日 配当支払開始予定日 2019年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	103,417	△3.0	1,627	△18.5	1,844	△15.6	1,213	△17.6
2019年3月期第2四半期	106,646	6.6	1,995	△3.6	2,184	△2.9	1,472	△2.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 407百万円 (△77.1%) 2019年3月期第2四半期 1,778百万円 (△37.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	56.54	55.43
2019年3月期第2四半期	68.60	67.28

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	116,810	44,066	37.5
2019年3月期	127,447	44,199	34.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 43,764百万円 2019年3月期 43,891百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	18.00	—	25.00	43.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	23.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	△3.2	3,400	△10.5	3,850	△8.8	2,700	△16.4	125.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有  
 連結業績予想の修正については、本日（2019年11月6日）公表いたしました「第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	21,799,050株	2019年3月期	21,799,050株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	323,371株	2019年3月期	344,994株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	21,462,757株	2019年3月期2Q	21,466,751株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用や所得環境の改善が続き、個人消費の持ち直し等を背景に、緩やかな回復基調で推移しましたが、世界経済においては米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱問題等の影響が懸念され、引き続き不透明な状況が予想されます。

このような状況下におきまして、当社グループの連結業績は、売上高は1,034億1千7百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は16億2千7百万円（前年同期比18.5%減）、経常利益は18億4千4百万円（前年同期比15.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億1千3百万円（前年同期比17.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ①鉄鋼事業

鉄鋼事業においては、主要取引業界である商用車業界は堅調に推移しましたが、国内の建産機業界向けの販売が低調であったこと等により、売上高は672億6千7百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は仕入コストの増加により利益率が低下したこと等により、8億8百万円（前年同期比29.2%減）となりました。

## ②非鉄金属事業

非鉄金属事業においては、商用車業界は堅調に推移しましたが、地金相場の変動による価格影響等により、売上高は150億7千万円（前年同期比11.4%減）、営業利益は1億5千4百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

## ③電子材料事業

電子材料事業においては、国内の車載機器向けプリント配線基板用積層板の販売が減少したこと等により、売上高は120億3千2百万円（前年同期比0.1%減）となりましたが、海外を中心とした電子部品の新商材を拡販したこと等により、営業利益は4億1千7百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

## ④ライフ営業事業

ライフ営業事業においては、既存先への販売が堅調に推移したこと等により、売上高は43億6千6百万円（前年同期比3.4%増）となりましたが、自社商品の販売が減少したこと等により、営業利益は2億5千7百万円（前年同期比18.3%減）となりました。

## ⑤機械・工具事業

機械・工具事業においては、前期に国内大型設備案件があったこと等により、売上高は32億5百万円（前年同期比6.7%減）、営業損失は4百万円（前年同期は営業利益8百万円）となりました。

## ⑥営業開発事業

営業開発事業においては、主力の商材及び工事案件を適宜受注しましたが、売上高は14億7千4百万円（前年同期比22.8%減）、営業損失は6百万円（前年同期は営業利益1千7百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて106億3千6百万円減少し1,168億1千万円となりました。その要因の主なものは、流動資産において、受取手形及び売掛金が減少したこと等により93億8千4百万円減少したこと、固定資産において投資有価証券が減少したこと等により12億5千1百万円減少したことです。

## ②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて105億4百万円減少し727億4千3百万円となりました。その要因の主なものは、流動負債において、支払手形及び買掛金や電子記録債務が減少したこと等により91億6千1百万円減少したこと、固定負債において長期借入金が減少したこと等により13億4千2百万円減少したことです。

## ③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1億3千2百万円減少し440億6千6百万円となりました。その要因の主なものは、利益剰余金が6億7千8百万円増加したこと、その他の包括利益累計額においてその他有価証券評価差額金が7億8千3百万円減少したことです。

④キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益が17億6千6百万円となりましたが、売上債権の減少額82億6千9百万円、仕入債務の減少額88億2千3百万円、たな卸資産の増加額1億9百万円、減価償却費4億7千6百万円等により、10億4千2百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

定期預金の払戻による収入13億9千1百万円、有形固定資産の取得による支出3億5千3百万円等により、8億2千9百万円の収入となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純減額8億1千5百万円、配当金の支払額5億3千4百万円等により、15億5百万円の支出となりました。

これらの結果から、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ4億2百万円増加し、22億4千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第2四半期累計の実績、通期の見込み等を総合的に勘案し、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回公表した予想数値を下回る見込みであることから、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2019年11月6日)公表いたしました「第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,295	2,306
受取手形及び売掛金	59,424	50,815
電子記録債権	11,921	12,258
商品及び製品	19,426	19,539
その他	1,958	1,746
貸倒引当金	△118	△142
流動資産合計	95,908	86,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,557	5,699
土地	7,568	7,569
その他（純額）	2,016	1,719
有形固定資産合計	15,142	14,989
無形固定資産	192	185
投資その他の資産		
投資有価証券	15,097	14,093
繰延税金資産	38	40
退職給付に係る資産	—	14
その他	1,227	1,131
貸倒引当金	△116	△127
投資損失引当金	△43	△40
投資その他の資産合計	16,204	15,111
固定資産合計	31,538	30,287
資産合計	127,447	116,810

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,676	35,412
電子記録債務	11,429	8,907
短期借入金	12,668	12,722
未払法人税等	635	471
賞与引当金	1,023	965
その他	2,335	2,128
流動負債合計	69,769	60,607
固定負債		
長期借入金	10,475	9,449
繰延税金負債	2,384	2,140
退職給付に係る負債	155	103
役員退職慰労引当金	71	69
その他	392	374
固定負債合計	13,478	12,136
負債合計	83,247	72,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,321	1,321
資本剰余金	878	868
利益剰余金	35,503	36,181
自己株式	△284	△272
株主資本合計	37,418	38,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,187	5,404
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	290	266
退職給付に係る調整累計額	△4	△4
その他の包括利益累計額合計	6,472	5,665
新株予約権	303	296
非支配株主持分	5	5
純資産合計	44,199	44,066
負債純資産合計	127,447	116,810

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	106,646	103,417
売上原価	98,445	95,425
売上総利益	8,201	7,991
販売費及び一般管理費	6,205	6,364
営業利益	1,995	1,627
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	215	247
受取賃貸料	75	73
仕入割引	41	36
為替差益	27	—
その他	35	61
営業外収益合計	400	424
営業外費用		
支払利息	95	101
売上債権売却損	16	15
賃貸費用	40	35
持分法による投資損失	37	20
為替差損	—	10
その他	21	23
営業外費用合計	212	207
経常利益	2,184	1,844
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	19	—
特別利益合計	20	1
特別損失		
固定資産除売却損	3	4
投資有価証券評価損	—	33
投資損失引当金繰入額	21	33
その他	6	7
特別損失合計	31	78
税金等調整前四半期純利益	2,172	1,766
法人税、住民税及び事業税	647	501
法人税等調整額	52	51
法人税等合計	699	552
四半期純利益	1,473	1,214
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,472	1,213

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,473	1,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	189	△784
繰延ヘッジ損益	10	0
為替換算調整勘定	104	△24
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	305	△806
四半期包括利益	1,778	407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,777	406
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,172	1,766
減価償却費	438	476
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	34
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	△1
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△14
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△77	△52
受取利息及び受取配当金	△220	△252
支払利息	95	101
持分法による投資損益 (△は益)	37	20
投資有価証券売却損益 (△は益)	△19	—
固定資産除売却損益 (△は益)	2	2
売上債権の増減額 (△は増加)	34	8,269
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,273	△109
仕入債務の増減額 (△は減少)	△249	△8,823
その他	134	116
小計	1,067	1,535
利息及び配当金の受取額	237	264
利息の支払額	△91	△103
法人税等の支払額	△786	△660
法人税等の還付額	5	6
営業活動によるキャッシュ・フロー	432	1,042
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	1,391
有形固定資産の取得による支出	△1,021	△353
有形固定資産の売却による収入	4	2
無形固定資産の取得による支出	△13	△23
投資有価証券の取得による支出	△12	△12
投資有価証券の売却による収入	24	—
子会社株式の取得による支出	△78	△193
貸付けによる支出	△137	△86
貸付金の回収による収入	64	46
その他	9	57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,159	829
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,098	△815
長期借入れによる収入	1,333	500
長期借入金の返済による支出	△1,100	△600
自己株式の取得による支出	△53	△55
配当金の支払額	△506	△534
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	772	△1,505
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	55	371
現金及び現金同等物の期首残高	2,139	1,843
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	31
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,194	2,246

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	鉄鋼事業	非鉄金属事業	電子材料事業	ライフ営業事業	機械・工具事業	営業開発事業	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	68,026	17,000	12,050	4,223	3,437	1,909	106,646
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	68,026	17,000	12,050	4,223	3,437	1,909	106,646
セグメント利益	1,141	168	345	314	8	17	1,995

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	鉄鋼事業	非鉄金属事業	電子材料事業	ライフ営業事業	機械・工具事業	営業開発事業	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	67,267	15,070	12,032	4,366	3,205	1,474	103,417
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	67,267	15,070	12,032	4,366	3,205	1,474	103,417
セグメント利益 又は損失(△)	808	154	417	257	△4	△6	1,627

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメント区分方法及び費用の配賦方法の見直し)

第1四半期連結会計期間から、当社グループ各事業の業績管理と事業戦略の達成を目的として、「機械・工具事業」に含めておりました「営業開発事業」を、新たなセグメントとして設けることと致しました。

また、当該変更に伴い、セグメント別の損益をより適切に反映させるために、各事業セグメントに配分する費用の配賦方法を見直しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき、また、見直し後の配賦方法に基づき作成しております。